

機能名称		機能の定義	重要性	備考
<b>1. 基本機能</b>				
<b>1.1. 利用環境</b>				
1.1.1.	病児・病後児保育利用者の利用端末	病児・病後児保育利用者は、スマートフォン、パソコン等の端末を利用して、病児・病後児保育利用者機能が利用できる	A	
1.1.2.	病児・病後児保育施設職員の利用端末	病児・病後児保育施設職員は、パソコンやタブレット等を利用して、病児・病後児保育施設職員機能が利用できること	A	
1.1.3.	本市職員の利用端末	本市職員は、パソコンを利用して、本市職員機能が利用できること	A	
1.1.4.	ウェブブラウザ	ウェブブラウザは少なくともEdge、Google Chromeを動作保証すること	A	
1.1.5.	表示デザイン	端末に応じて最適化されたデザインで表示すること	B	
<b>1.2. 利用規約</b>				
1.2.1.	利用規約への同意	サービス利用にあたって、少なくとも1回は利用規約に同意するプロセスを通過するようにできること	A	
1.2.2.	利用規約の内容	利用規約の内容については提案者が作成し、市の修正を受けたものを掲載できること	A	
<b>1.3. 利用可能時間</b>				
1.3.1.	利用可能時間	原則として24時間365日システムの利用が可能であること	A	
<b>2. 病児・病後児保育利用者機能</b>				
<b>2.1. 病児・病後児保育利用者情報の登録・管理</b>				
2.1.1.	病児・病後児保育利用者情報の登録	病児・病後児保育利用者情報の登録の際、以下の項目を設けること ・保護者氏名/カナ ・利用児童氏名/カナ ・利用児童生年月日 ・郵便番号 ・住所 ・電話番号 ・メールアドレス	A	
2.1.2.	病児・病後児保育利用者情報の削除	病児・病後児保育利用者の操作で、利用児童の利用停止やアカウントの削除ができること	B	
2.1.3.	利用児童の基本情報	利用児童の基本情報として下記の項目を登録・確認・変更できること ・氏名 ・カナ ・生年月日 ・性別 ・血液型	A	
2.1.4.	利用児童のアレルギー情報	利用児童のアレルギー情報を登録・確認・変更できること	A	
2.1.5.	利用児童の既往症歴・予防接種歴	利用児童の既往症歴、予防接種の接種履歴を登録・確認・変更できること	A	
2.1.6.	利用児童の情報更新	前回の利用から期間が経過した場合などに、病児・病後児保育利用者に対して利用児童のアレルギー情報、既往症歴、予防接種歴等の更新や再確認をさせることができること	B	
<b>2.2. 利用予約</b>				
2.2.1.	利用予約制御	事前面談済の病児・病後児保育施設のみ、利用予約を可能とすることができること	B	
2.2.2.	空き状況確認	病児・病後児保育施設の空き状況を確認できること	A	
2.2.3.	キャンセル待ち	利用予約のキャンセル待ち機能を有すること	A	
2.2.4.	症状選択	利用予約をする際に病状や診断名の選択、入力ができること	A	
2.2.5.	自由記入欄	利用予約をする際に、利用者による自由記入欄があること	B	
2.2.6.	利用予約内容確認	病児・病後児保育利用者が、現在の利用予約内容を確認できること	A	
2.2.7.	利用予約履歴確認	病児・病後児保育利用者が、過去の利用予約履歴を確認できること	B	

機能名称		機能の定義	重要性	備考
2.2.8.	利用予約内容変更・キャンセル	病児・病後児保育利用者が、現在の利用予約の内容を変更・キャンセルできること	A	
2.2.9.	利用予約関連メール	病児・病後児保育利用者の利用予約に関し、以下のタイミングでメール送信できること ①共通 ・予約確定、予約キャンセル、キャンセル待ち取消、予約変更確定、利用日リマインド通知 ②即時予約 ・キャンセル待ち空き発生 ③承認予約 ・予約仮受付、予約変更仮受付、キャンセル待ち受付、予約不許可	A	②については「3.2.2 即時予約」機能を有する場合のみ
<b>3. 病児・病後児保育施設職員機能</b>				
<b>3.1. 事前面談予約受付・管理</b>				
3.1.1.	事前面談予約受付	事前面談予約の受付ができること	B	
3.1.2.	事前面談予約確認	事前面談予約の確認ができること	B	
3.1.3.	事前面談予約キャンセル	事前面談予約のキャンセル登録ができること	B	
3.1.4.	事前面談結果登録	事前面談実施結果（未実施/不許可/許可）を登録できること	B	
<b>3.2. 利用予約受付</b>				
3.2.1.	利用予約受付設定	病児・病後児保育施設ごとに、利用予約受付の設定ができること	A	
3.2.2.	即時予約	利用予約受付方法として、即時予約を選択できること ※即時予約：病児・病後児保育利用者が利用予約の申し込みを行った時点で利用予約が確定する	B	
3.2.3.	承認予約	利用予約受付方法として、承認予約を選択できること ※承認予約：利用予約申請を受け付けた病児・病後児保育施設職員が利用予約確定処理をすることで、利用予約が確定する	A	
3.2.4.	対象年齢設定	利用児童の対象年齢を設定でき、対象年齢外の場合は利用予約ができない制御ができること	A	
3.2.5.	利用予約受付期間設定	利用予約受付開始日時、利用予約受付終了日時を設定できること。	A	
3.2.6.	キャンセル期限設定	利用予約のキャンセル期限を設定できること	A	
3.2.7.	部屋割り設定	症状に応じて安静室への振り分けを自動で行う設定ができること 安静室と保育室で受付定員数の設定ができること	B	
<b>3.3. 利用予約管理</b>				
3.3.1.	代理利用予約	電話等で受け付けた利用予約について、代理で利用予約登録ができること	A	
3.3.2.	利用予約修正	利用予約内容の修正ができること	A	
3.3.3.	代理利用予約キャンセル	電話等で受け付けた利用予約のキャンセルについて、代理でキャンセル登録ができること	A	
3.3.4.	操作履歴確認	操作日時や操作者などの操作履歴として以下の事項を確認できること ・利用予約受付日時 ・利用予約変更日時 ・キャンセル日時 ・キャンセル待ち日時	A	

機能名称		機能の定義	重要性	備考
3.3.5.	利用予約表示・検索	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用予約一覧を表示できること</li> <li>また、以下の項目で検索ができること</li> <li>・日付</li> <li>・保護者氏名/カナ</li> <li>・利用児童氏名/カナ</li> <li>・未確定の利用予約のみ表示</li> <li>・本日分の利用予約のみ表示</li> <li>・翌営業日分の利用予約のみ表示</li> </ul>	A	
<b>3.4. 情報管理</b>				
3.4.1.	利用児童情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目に関して、利用児童情報の登録・確認・修正ができること</li> <li>・基本情報</li> <li>・アレルギー情報</li> <li>・発達に関する情報</li> <li>・管理情報</li> <li>・施設内管理情報</li> <li>・既往症歴</li> <li>・予防接種履歴</li> </ul>	B	
3.4.2.	病児・病後児保育施設内共有情報管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>以下の項目について、申し送り事項、個別管理情報を登録可能であること</li> <li>・既往症に関する情報</li> <li>・出生時情報（身長、体重など）</li> <li>・健康状態（平熱、発育情報など）</li> <li>・かかりつけ医（病院名、病院電話番号など）</li> <li>・生活リズム（寝つき、排泄情報など）</li> <li>・保育経験</li> </ul>	B	
<b>3.5. 利用実績管理・報告書提出</b>				
3.5.1.	利用実績登録	利用実績が登録できること	A	
3.5.2.	利用実績集計	自施設における月ごとの利用実績集計ができること	A	
3.5.3.	報告書提出	システム内で本市へ報告書の提出ができること	B	
<b>4. 本市職員機能</b>				
<b>4.1. 情報管理</b>				
4.1.1.	マニュアル管理	病児・病後児保育利用者及び病児・病後児保育施設職員向けのマニュアルの更新やダウンロードができること	B	
4.1.2.	利用料等免除情報管理	利用料等免除の登録や確認ができること	A	
4.1.3.	利用者情報管理	全ての病児・病後児保育利用者の一覧情報をExcel出力できること	B	
<b>4.2. 報告書管理</b>				
4.2.1.	報告書出力	病児・病後児保育施設から提出された報告書の内容確認及び出力ができること	B	
4.2.2.	報告書差戻し	病児・病後児保育施設から提出された報告書の差戻しができること	B	
<b>4.3. データ出力</b>				
4.3.1.	実績データ出力	<ul style="list-style-type: none"> <li>年度ごとの実績データを出力できること</li> <li>例：利用児童数（施設別、年齢別）</li> </ul>	A	
4.3.2.	予約受付情報出力	全施設合計の予約受付数を年度かつ月ごとに確認できること	B	

機能名称		機能の定義	重要性	備考
5. その他				
5.1. 拡張性				
5.1.1.	法改正対応	国要綱の改正等に伴う運用変更にも柔軟な対応ができること	A	
5.1.2.	事業拡張	一時預かり事業にも拡張が可能であること	A	

**凡例**

**【重要性】**

- A 必須要件 実現が必須である。
- B 任意要件 実現必須ではないが、実現できることが望ましい。